

教室で生徒と対面

大栄中の生徒と交流

サンプルーノ市中学生友好訪問団

姉妹都市であるアメリカ・サンプルーノ市の中学生と教員など9人によって結成された友好訪問団が、6月29日～7月7日の9日間にわたり本市を訪れました。6人の中学生は市内の施設の見学や、成田祇園祭への参加、一般家庭でのホームステイなどを通して日本文化を体験。7月1日には大栄中学校を訪問し、同年代の生徒と一緒に給食を食べたり部活動でバスケットボールや剣道を体験したりして交流を深めました。



茶道も体験(6月30日・中央公民館で)

成田キャンパスが着工

国際医療福祉大学

市が誘致を進めてきた国際医療福祉大学〔仮称 成田看護学部・成田保健医療学部〕のキャンパスの起工式・安全祈願祭が7月17日、公津の杜駅近くの建設予定地で行われました。教室棟と体育館棟から成る校舎は地上9階建てで、平成28年4月の開校を予定しています。成田のキャンパスでは、看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床検査技師が養成される計画です。



くわ入れをする小泉市長・関根副市長・藤田副市長



風鈴には花火の模様が

カランコロ 耳から涼しく

世界に一つの手作り風鈴

工作を通じて夏を感じてもらおうと「世界に一つの手作り風鈴」が7月6日、子ども館で行われました。参加したのは小学生23人。まず直径7.5cmの植木鉢に朝顔や花火、スイカなど自分の好きな絵を描き、穴から糸を通して内側にペットボトルのふたが当たるように調整します。最後に七夕の願い事などを書いた短冊を付けて風鈴が完成しました。手に持ってつると、カランコロと涼しげなかわいい音で会場はいっぱいに。子どもたちはうれしそうな表情で音色を楽しんでいました。



うなりくんがデザインされたフレーム切手

市内の郵便局で販売

オリジナルフレーム切手

市制施行60周年を記念して、日本郵便株式会社関東支社がオリジナルフレーム切手を7月18日から販売しています。切手には市制施行60周年のロゴマークや、市観光キャラクター「うなりくん」のさまざまなポーズがデザインされています。

販売場所＝市内の郵便局

販売価格＝1シート1,230円(82円切手×10枚)

販売枚数＝2,000枚

汗を流して気分爽快

ニューススポーツフェスタ IN 成田

世代を超えて誰でも気軽に楽しむことができるニューススポーツを体験してもらおうと「ニューススポーツフェスタ IN 成田」が7月12日、市体育館で開催されました。用意されたのは、ユニカール、バウンドテニス、グランドバレーボールなどの定番種目から新種目まで8種類。初めて実施された「タグ取り鬼ごっこ」は、腰に付けた2本のタグを取られないように逃げながら相手のタグをより多く取ることを目指すゲームで、子どもから高齢者までが参加し、コート内を所狭しと駆け回っていました。



背後からタグを狙う
(タグ取り鬼ごっこ)



大きな楕円のボールで
(グランドバレーボール)



JR成田駅前での総踊り



山車を背景に記念の1枚

祭りに染まった3日間

成田祇園祭

成田の夏を彩る「成田祇園祭」が7月4日～6日、成田山新勝寺や表参道を中心に開催されました。祭りの幕開けとなった4日はあいにくの空模様で、新勝寺大本堂前の総踊りは小雨がぱらつく中で行われました。5日からは天気も徐々に回復し、再開発が進むJR成田駅前での総

踊りや、6日の総引き・総踊りなどが行われ、ことしも3日間で約45万人の見物客が訪れました。最終日に行われた最大の見せ場である「総引き」では、気合が込められた引き手の掛け声とともに、仲町の急坂を次々と威勢よく山車が駆け上がりました。